

## 第 19 回 エックス線被ばく事故検討 WG 議事概要

1. 開催日時：2022 年 5 月 12 日（木）午前 9 時 00 分～10 時 15 分
2. 開催場所：Zoom を用いたオンライン開催
3. 出席者：（順不同、敬称略）  
飯本武志、山口一郎、榎本 敦、浜田信行、橋本 周、秋吉優史、笠井 篤、阪間稔、高橋賢臣、小嶋光明、川島恒憲、中村美和、小田啓二、五十嵐 悠、井上 智博（千葉県環境研究センター）、上治純子（千葉県環境研究センター）、根本創紀（千葉県環境研究センター）
4. 紹介資料  
資料 モニタリングポストへの非破壊検査装置の影響について
5. 議事
  - (1) 前回議事要旨（案）の確認  
前回議事要旨（案）を確認し、原案通りで承認された。
  - (2) モニタリングポストへの非破壊検査装置の影響について  
資料に基づき、千葉県環境研究センターの井上氏、上治氏、根本氏より、モニタリングポストで観測されるエックス線発生装置を用いた非破壊検査時の漏えい放射線に関して、話題提供を頂いた。  
以下の意見があった。
    - 今後の正確な線量（率）の評価には、装置からの放射線発生の特徴（パルスの状況等）や放射線測定器側の回路特性などにも十分に留意する必要がある
    - 非破壊検査の現場作業時における周辺環境の状況確認や安全の確保、検査実施者への教育訓練の現状について実態調査をする必要がある
    - 同様の事例として、体内に RI をもつ患者からの放射線が影響するケースもある
  - (2) 経過報告書（案）について
    - 五十嵐幹事補佐から経過報告書（案）に対する各委員からコメントへの対応方法と今後のスケジュールについて説明があった。
    - 国際原子力機関の INES のなかで 2021 年 5 月発生のエックス線被ばく事故についての情報が公開されていることを確認し、経過報告書の中で扱うこととなった。
  - (3) その他
    - 第 20 回WGを 2022 年 5 月 31 日 9 時～11 時で開催することとした。

### <参考>

WG 終了直後に、事務局として以下を確認した。本議事概要に追記する。

- ・第 18 回 日本放射線安全管理学会主催シンポジウムでの当 WG 関係のセッションは 6 月 16 日（木）14 時 30 分～15 時 45 分となった。
- ・日本保健物理学会 2022 年度シンポジウムでの当WG関係のセッションは 6 月 29 日（水）13 時 30 分～14 時 30 分となった。

以上